

2019年電波伝搬実験

JJ1SXA/池

昨年の伝搬実験の移動地は、日光市と塩原市を結んでいる日塩道路沿線の「ハンターマウンテン塩原スキー場」へ行ったのだが、スキー場はシーズン外で閉鎖された状態で、予定していた場所を確保できませんでした、広い駐車場は、1 エリア方面に開けているようだから、この駐車場で、車を少しずつ移動させながら最良のポイントを選ぶという思惑は完全に裏切られました。

そんな経験を頭に置いて移動地選びですが、移動地の選定は、「無線の飛びは二の次、近隣に温泉があることが第一条件」の原則は変えられません、過去には、良いロケーション選びが第1だった時期もありましたが、近年は、前述の原則で変わりません。

結果、今年もボーズかとの予想が、一応 2 局、「松姫峠」移動のコントロール局 JA1WOB/1 局と、前橋市県道 16 号大胡赤城線カーブ 84 駐車帯に移動した、JM1LZT/1 局と、とりあえず、レポート交換ができました。

思えば、伝搬実験の初期の頃から、何年間も、佐渡ヶ島「ドンデン山」に行きました、ここは、FB な移動ポイントで、何年目かの移動の時から、宿の山荘には、1 階の屋上に地元クラブが設置した、ルーフトワーにローテーターに収まったポールが立っており、ローテーターのケーブルは 2 階の部屋に引き込まれ、自由に使っても良いとのことで、大変重宝しました、VY TKS です。

最初の頃、宿の前庭に停めた車の、5/8 λ モービルホイップアンテナの、同軸ケーブルを付け替えて、2 階の部屋まで伸ばし、車のアンテナで、炬燵の中からの運用ですと、QSO 相手を面喰わせたのも、良い思い出です、5 月末の佐渡の山の上は寒かった。

その後、秋田県の男鹿半島、「寒風山」へ行ったり、福井市の「国見岳」にも行きました、随分遠征しましたが、余りうまくいきませんでした。

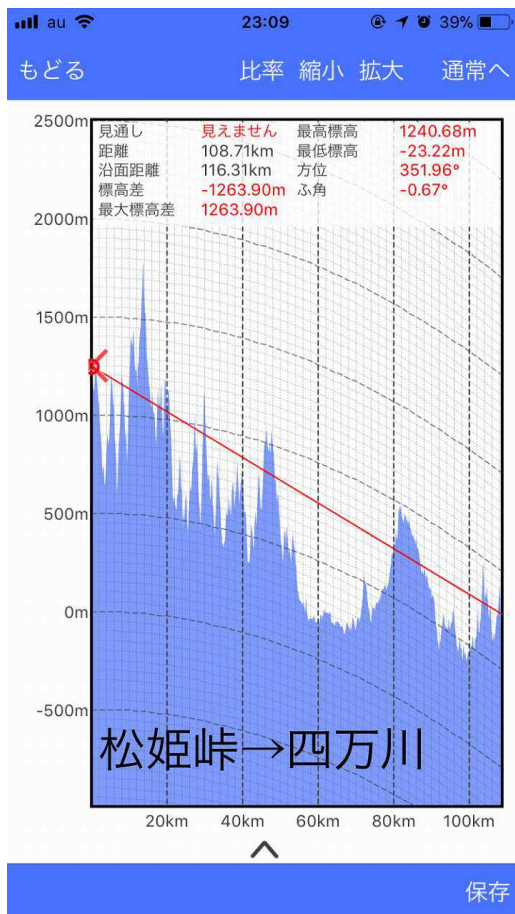
「寒風山」移動の時は、前日光移動の、コントロール局、JK1CZD/1 の何度かの呼びかけに、応答するも、QSB で、とうとう取ってもらえませんでした、「国見岳」移動では、立川固定局の、JH1DXJ の信号は、メリット 5、だが、呼べど叫べど応答無し、遠方の局に対しては、特別に QSB 対策が必要でしょう。

近年は、遠方からのモービル局の信号を聞く機会が少なくなり、このような、QSB 対策と、PTT を一旦離すブレイクタイムの取り方がおろそかになっている気がします、モービル運用の局が激減した今ですが、原点に戻って、ブレイクタイムの確実な実行を求めます、この普段の習慣が、240 の QSO においては、様々な場面で有効になることでしょう。

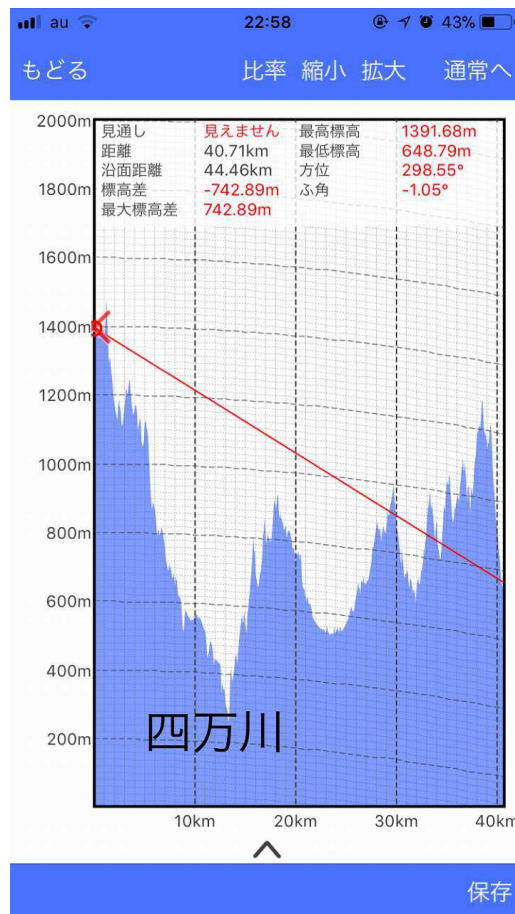
ともあれ、永年続いている伝搬実験も、まだまだ継続実施ができることを期待します、私の方は、何時まで移動しての参加ができるかは、一寸疑問ですが hi

皆さんも、移動地選びに苦勞されるでしょうが、頑張ってもらいたいものです、ロケーション抜群の場所への移動も、皆さんも、年齢が上がってきていますので長距離になると、年々大変になるかとは思いますが…

今年の伝搬実験も事故無く、無事終了したことに安堵感を覚えます、「事故無く」は当然のことながら、大事なことでしょう、来年以降もこれまでと同じく、「事故無く」で楽しみましょう。



JA1WOB→JJ1SXA



JM1LZT→JJ1SXA

上図は、JM1LZT/富山さんが、「見通し判定ソフト」で、私の移動場所「群馬県吾妻郡中之条町・国道 353 号線四万川ダム近辺」と、JA1WOB/斉藤さんの移動場所「山梨県北都留郡小菅村・松姫峠」、富山さんの移動場所「群馬県前橋市・県道 16 号大胡赤城線カーブ 84 駐車帯」間の見通しを判定した結果です。

両方共に見通しではありません、然し実際には、2 局と、かろうじてながらですが、QSO 出来ました、見通しで無くても、回折や反射等で、QSO が可能になるようだ、電波の伝搬は、実際にやってみなければわからないということのようです、良く、ジョークでの話しですが、「電波に色がついていれば、良くわかるのだが…」は、本当にその通りだと思う、色を付けて見てみたい。

「見通し判定ソフト」での判定結果の図は、HP の「電波伝搬実験」のページ、参考事項の最下段にリンクしてあります、自分の所はどうなのと思われる局は、リンクから開いてご覧ください(既に、ご覧いただいた方は多いでしょうが…)

リンク先は「電波伝搬実験」のページ → <http://www.inv.co.jp/~ike/SXA19002.html>
「見通し判定ソフト」→改訂新版「カシミール 3D 入門編」(杉本智彦著 実業之日本社) ?